



第212回 清陵勉強会



へり 南海トラフ地震を「縁」から理解する

2026年2月24日(火) 19:00~20:30

*ハイブリッド開催

会 場: TIME SHARING Biz 品川A【品川駅5分】
東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル地下1階

講師: **木下 正高氏**
(東京大学地震研究所 教授)

へり
演題 南海トラフ地震を「縁」から理解する

南海トラフでは約100年周期でM8級地震が発生し、今後30年以内の発生確率は20-90%とされます。巨大地震は、沈み込むフィリピン海プレートと西南日本の境界断層が強く固着し、蓄積した歪が破壊されることで起こります。

震源域は駿河湾から日向灘まで500 kmに及びますが、実際に地震を起こす範囲の決定要因は未解明です。近年、震源域の「縁」でスロー地震が頻発することが明らかとなり、その要因として海山の沈み込みが関与しているようです。

南海トラフでの掘削結果と、現在日向灘の海山周辺で進めている観測を紹介し、「縁」から巨大地震発生に迫ります。

木下 正高
(きのした まさたか)
83回生



略歴

1980年長野県諏訪清陵高等学校卒業
1985年東京大学理学部地球物理学科卒業
1990年理学博士取得
その後東海大学海洋学部、海洋研究開発機構を経て2015年より現職。
専門は固体観測地球物理学。
海底熱流量測定と海洋科学掘削を基に、海洋の活動的プレート境界における熱・水理地質構造研究を行う。2007年以降、南海トラフ地震発生帯断層到達を目指し、掘削船「ちきゅう」等による調査を主導してきた。2020年頃から日向灘に沈み込む海山が南海トラフ地震に与える影響を評価している。
趣味はクラシックギター。
「迷ったときは最初の決断に従え」で何とかここまでやってきた

<第211回清陵勉強会 開催概要>

日 時: 2026年2月24日(火) 19:00~20:30 (質疑応答を含む)*ハイブリッド開催

会 場: TIME SHARING Biz 品川A【品川駅5分】
東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル地下1階

<https://www.google.com/maps/place/35%C2%B037'56.6%22N+139%C2%B044'16.6%22E/@35.6323983,139.735372,17z/data=!3m1!4b1!4m4!3m3!8m2!3d35.6323983!4d139.7379469?entry=ttu>

会 費: 会場、ZOOM参加ともに 500円 (懇親会参加者は別途3,500円)
*リモート参加の学生は無料です

申 込: ご出欠を2月20日(金)までに下記メールフォームにてお知らせください
ZOOM参加希望の方には前日までにリンクをお送りします

<https://forms.gle/519FJy5zXaWVMKY2A>

お問い合わせ

清陵勉強会事務局 seiryobenkyokai@gmail.com